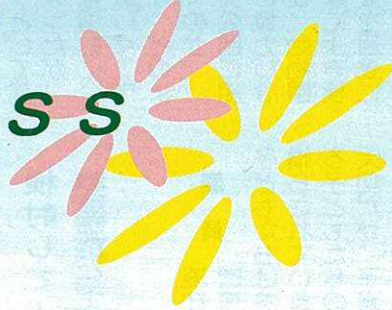


北九州  
市議会  
だより

PRESS



No. 144

平成11年1月1日

新春号

新年明けましておめでとうございませう  
今年も市民の皆様の期待に添えるよう  
議員一同力を尽くします。





# 12月定例会

## 本会議の質問と答弁

12月定例会は、12月1日から12月7日まで開かれました。市長から28件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決（同意）しました。また、議員から提出された議案は4件で、うち3件を可決しました。

本会議では、各会派から次の10人の議員が質疑・質問を行いました。（議席番号順）

- 加茂 幸治 (自民市民クラブ)
- 来邊 茂 (自由民主党)
- 渡辺 譲和 (日本共産党)
- 橋本 村貴 (日本共産党)
- 田川 徹 (日本共産党)
- 荒川 勝利 (日本共産党)
- 水町 優一 (公明党)
- 木村 敏彦 (社民民主市民連合)
- 長野 正明 (市民21)
- 泊 正明 (市民21)
- 三宅 まゆみ (新しい風)

### 到津遊園の

### 今後は？

**議員** 閉園方針の出ている津遊園は、「(仮称)動物のいる自然の森公園」として残され整備されることになったが、その全体像は。また、全国的に公立動物園の運営は大変厳しく、市民の意見・要望も多いが、どのように管理運営をしていくのか。

### 市長

当施設は中央公園に組み入れ、県と協力しながら整備していく。現在、動物園のあり方について専門家による検討委員会を設け、来年度を目途に検討をお願いしているため、この報告を受けて整備計画を作成したい。

運営にあたっては市民が支える動物園と位置付けて、市民や企業の協力を得ながら効率的な運営を目指すことが必要だと考えている。

このため、管理運営体制の効率化や、遊具・動物の選択、民間委託などを検討する必要がある。また、市民の積極的な協力を得

るには、運営のあり方や市民参加の方法などについて、市民の意見や要望を踏まえる必要がある。検討委員会に市民の意見を聞くように要請するとともに、市としても意見交換の場を設定したい。

### 検討して！

### 教室暖房と中学生への昼食提供

### ▼少子化対策▲

**議員** 現在ほとんどの施設で暖房が普及しており、子どもたちは冬でも暖かい生活に慣らされている。成長発達期にある子どもたちの基礎体力の養成は大切だが、子育て支援の一環として、特に寒い日に限り、教室暖房を行うようにはどうか。

また、弁当を持たせられない家庭の中学生に対して、方式にとらわれず広く昼食を提供することについても、同様に検討する時期にきているのではないかと。

### 市長

小中学校の教室暖房については、子どもの健康やかな成長、子どもにやさしい環境という観点から、子育て支援に

おける選択肢の一つであると考えられる。このため、今後、教育委員会と十分協議しながら、検討していきたい。

中学生への昼食の提供についても、総合的な少子化対策の一つの支援策として、教育委員会とも十分協議しながら検討していく課題であると考えている。

### 古紙リサイクル

### の促進を！

**議員** 本市の一般ごみの四割以上を占める紙ごみ対策は、資源の有効活用のために、重要な課題である。そこで、古紙の市場価格が持ち直すまでの間の

集団資源回収への助成制度の見直しや、古紙の再製品化への支援などをすべきではないかと。

### 環境局長

地域での集団資源回収活動は、古紙余剰のため回収業者から引取りを拒否されるなど厳しい状況にある。しかし、資源保護や、ごみ減量化に有効な方法であり、早急に奨励金の見直しや、新たな支援策について検討

する必要があると考えている。

また、再製品化への研究の支援としては、中小企業技術開発振興助成金制度などを活用していただきたい。

再生品の利用では、全庁的な購入促進に取り組んでおり、市民や企業に対しては、リサイクル製品の購入を積極的に進めるグリーン購入運動を展開している。

### 通学区域の規制緩和

### ▶のびのびフレンドリースクール◀

来年度から、通学区域を越えて自然に囲まれた郊外の小学校に通学できる「のびのびフレンドリースクール」が導入されます。

議員から、「小倉南区の合馬小学校、八幡東区の河内小学校の2校を対象にしているが、今後、制度を拡大し、受け入れる小学校や児童数を増やすことが必要ではないか。また、中学校にも拡大しては」との質問があり、教育長は、「今回の応募状況や効果などを見極める必要があるが、基本的には、保護者や児童の賛同を得ながら、できるだけ充実・拡大する方向で検討したい。また、当面は、小学校を対象に制度の定着に取り組みたい」と答えました。



農業体験活動として行われる田植え



## 子どもたちに政治 や選挙に興味を 持たせる工夫を！

**議員** 若い世代の政治に対する無関心が続いている。

このため、子どもの頃から政治や選挙に興味を持たせる工夫が必要だと思うが、本市の学校現場における取り組みはどうか。また、身近に体験することが大切なので、各学校で積極的に市議会の傍聴を行っているとはどうか。

**教育長**

社会科の授業で、小学校六年生は人々の願いを実現する政治の働きや議会の仕組みを、中学校三年生は民主主義と国際社会のなかで特に政治参加の意義を学んでいる。

また、生徒総会や学級での話し合いといった実践的活動を通して、民主主義のルールの基礎を体得する教育活動も行っている。とりわけ、中学校の生徒会役員選挙では、立会演説会を実施し、なかには選

挙管理委員会から選挙用の小道具を借り、臨場感あふれる投票体験をさせている学校もある。

今後も社会科の学習を基盤に、政治や選挙への興味・関心を高めるよう指導の充実に努め、市議会の傍聴も市議会事務局と連携しながら積極的に取り組みたい。

## 経済波及効果はどうか

▼響灘ハブポート▲

**議員**

響灘ハブポートは、通過貨物が増え倉庫業や荷役業務が要らなくなるため、雇用拡大にはつながらないとの指摘がある。雇用拡大を含め本市への経済波及効果をどのように見ているのか。

**港 湾** これまで響灘地区では、港で取り扱っていない貨物を取り扱える機能を持たせるようになるため、新たな雇用の場が生まれるものと考えている。

港湾整備が地域経済に与える影響のうち、建設に伴う直接的なもの、構想の規模からして相当な経済波及効果があると思われる。また、港湾の利用に伴うものは、港湾活動に直接従事している企業だけに限らず、情報・金融業など幅広い分野に及ぶと想定される。

このため、ハブポートの整備が地域に及ぼす経済波及効果の検討を専門家の意見も聞きながら行っている。



北九州港響灘環黄海園ハブポート構想イメージ図

## 自転車駐輪場を 残しては？

▼戸畑駅南口土地区画整理▲

**議員**

戸畑駅南口の土地区画整理に伴い、JRR戸畑駅が約一〇メートル移動する。このため、現駐輪場が駅から遠くなり利用が期待できないので解体することだが、建設して九年しかたっていない駐輪場をつぶすのはもったいないとの声が市民からあがっている。

この計画の再考を促したい。  
**建築都  
市局長** いろいろな方法を検討したが、土地利用の計画のなかで駐輪場が駅から二五〇メートルほど離れるため、利便性を考え移設せざるを得なくなった。

新しい駐輪場は、区画整理組合からの補償金で新駅に近接する複合公共施設内に移設し、跡地には公園を整備する予定である。

## 体験型の農業公園の整備を！

「平尾台や河内・皿倉地区の持つ豊かな自然を生かした整備に期待を寄せているが、これらを周遊した到達点である八幡西区の南部地区の観光拠点化がポイントになると考えている。そこで、農業を観光資源として活用する視点に立ち、減反で休耕田となっている農地を活用して、市民農園を含めた体験型の農業公園を整備しては」と議員から提案がありました。

経済局長は、「体験型の農業公園の整備については、設置主体、規模、広大な用地の確保等の課題もあるが、場所、運営方法等を含め、今後検討していきたいと考えている」と答えました。

下上津役ファミリー農園



## 21世紀を展望した日米交流の促進へ

▶日米市長及び商工会議所会頭会議◀

11年11月に、「日米市長及び商工会議所会頭会議」が本市で開催されます。

議員から、「このような大規模会議を、今後のアメリカとの交流促進にどのように結びつけていくのか」との質問がありました。

企画局長は、「11年の北九州会議には、アメリカ側から20都市150名もの参加が見込まれる。当会議では、国際物流拠点都市の形成を目指すとともに、環境保全や環境産業の育成に取り組んでいる本市での開催にふさわしいテーマを設定し、日米企業間での商談・取引などにつながるような共催事業を企画したい。本市での開催により、本市とアメリカの都市間における経済交流の礎を築くとともに、環境保全や環境産業についての日米交流を促すきっかけにしていきたい」と答えました。



## 老人医療費給付制度

### の見直しは？

**議員** 市は、積極的に高齢化対策に取り組んできたというが、老人医療費給付制度の対象年齢引き上げなどを行っている。高齢者の安心を保障する市政への転換を図るために、これらを撤回すべきではないか。

**保健福祉局長** これまで高齢化社会対策として、総合計画を策定し、「北九州方式」と呼ばれる積極的な取り組みをしてきた。しかしながら、総合計画の目標を実現するためには、財源の確保が課題であり、高度経済成長を背景として整備されてきたこれまでの保健福祉の仕組みと施策を、今日の社会状況に合わせて再構築していく必要がある。

このため、議会、関係団体、市民の意見などを幅広く聞きながら慎重に検討を重ね、見直しを行ってきたのであり、これを撤回する考えはない。

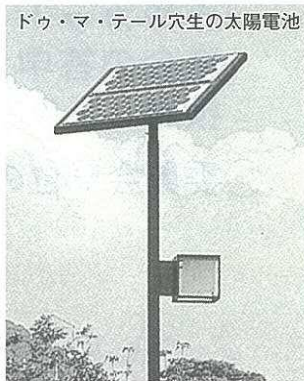
## 自然エネルギー

### の活用策は？

**議員** 地球温暖化防止の観点から、太陽・風・水等の自然エネルギーの活用は重要な施策である。本市は、どのような構想と実行計画を持っているのか今年度中に取りまとめ

**市長** 今年度中に取りまとめの予定の「北九州市エネルギー長期ビジョン」では、自然エネルギーはもとより、ごみ焼却による熱エネルギーや河川・下水廃熱などの未利用エネルギーの活用についても、将来の展望を示すこととしている。

本市では、これまでもこれらのエネルギーの活用に取り組んでおり、現在は学術研究都市における太陽光発電、風力発電の可能性調査や、門司区の港が丘小学校における環境教育を目的とした太陽光発電の設置などを計画している。また将来的には、市が所有する主要建築物の屋上を利用した太陽光発電なども考えているが、自然エネルギーの活用には常に技術革新とコストの問題が伴うため、国の助成や技術開発に気をつけながら進めていきたい。



ドウ・マ・テール穴生の太陽電池

## 可決した議員提出議案

今定例会では、意見書4件の議員提出議案が提出され、うち3件を可決しました。その件名などを紹介します。

### ●犯罪被害者救済制度の充実に関する意見書

### ●公的年金制度の充実に関する意見書

### ●欠陥住宅補償法の早期制定等を求める意見書

(要旨) 欠陥住宅を購入した消費者を救済し、欠陥住宅の発生を防止するため、欠陥住宅補償法を早期に制定することなどを求める。

### 他に、次の項目にわたっても

#### 議論がありました

- 門司港レトロ事業の推進
- 中小企業・起業家への支援策
- AIM事業の進め方
- 少子化対策の推進
- 教育行政への地域住民の参画
- 周防灘地域開発構想
- 九州国際大学移転に伴う問題
- 宅地防災システムの創出

## 請願・陳情の審議結果

- 請願「ベイフロントパーク内温浴施設の低料金での利用について」 **採択**
- 請願「一般ごみの無料収集の継続等について」のうち第五項 **採択**
- 請願「動物園の存続について」 **採択**
- 請願「到津遊園の存続について」 **採択**
- 請願「借地借家法改正に反対する意見書提出について」 **不採択**
- 請願「八幡南環境事務所の存続等について」 **不採択**
- 陳情「北九州市内への動物園施設の存続について」 **採択**
- 陳情「到津遊園地の存続について」 **採択**
- 陳情「一般ごみの有料指定袋制の反対等について」のうち第一項 **採択**
- 陳情「三条・両国橋間の大蔵川(板櫃川)沿いの道路への東西連絡管布設中止について」 **不採択**

## 市議会の虚礼廃止にご理解を!

- このほか、請願50件、陳情66件は継続審査になりました。
- 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。
  - 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
  - 議員や後援会がお歳暮やお中元をすること
  - 議員が年賀状などのあいさつ状を出すこと(自筆の答礼は除く)
  - 市民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

## お知らせ

- ▼市議会では、視覚障害(一級か二級)のある方に、市議会たよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。ご希望の方は、ご連絡下さい。
- ▼市議会たよりに関するお問い合わせせやご意見、ご感想をお寄せ下さい。
- ▼次の定例会は二月(または三月)に開催予定です。





## 市議会の改革

これまで検討してきた市議会の取り組みについてお知らせいたします。



北九州市議会では、平成9年2月から、議会改革懇話会を設置し、市議会の改革・改善について検討してきました。そのうち速やかに対応できるものは、会派の代表者会議で決定し、実施に移してきました。12月7日にこれまでの検討内容を取りまとめましたので、概要を紹介します。

## 新たに取り組むもの



- 全国市議会議長会の永年勤続表彰時に市から贈呈される記念品を辞退することとしました。
- 予算・決算特別委員会分科会の市長質疑の記録を、条件が整い次第公開します。
- 常任委員会では従来どおり政府陳情を行いますが、特別委員会（大都市税財政制度確立等特別委員会を除く）は原則として陳情をしないこととしました。
- 平成12年に実施する国勢調査の結果により、区ごとの議員一人当たり人口比が1.5倍以上となった場合には、区の議員定数を見直します。その結果、現在の定数より減る区は減員し、増える区は増員しません。実施は平成13年の一般選挙とします。
- 審議の状況を広く市民に知ってもらうため、予算議会のケーブルテレビ中継（ケーブルテレビのない区は区役所で翌日録画放映）を試行的に実施します。
- ホームページを開設しました。〔アドレス <http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>〕
- 市議会だよりに、質問議員名、会派名を一覧にして掲載します。
- 委員会への市職員の出席は、必要最小限に絞るよう申し入れました。

## これまでと同様の取り扱いをするもの



- 議員報酬について、今任期中の据え置きやカットなどは行わないが、報酬審議会の答申が出された時点で、慎重に検討します。
- 委員会単位の行政視察先は国内とします。

## 今後も引き続き検討を続けるもの



- 情報公開のあり方
- 市議会事務局組織の見直し
- 特別委員会の設置

## 市民の皆様へ

市民の皆様には、日頃から市議会にご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

市議会改革を検討するうえで、色々な角度から議論を深め改革を進めてまいりました。

今後も、皆様のご負担に応えられるよう取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、「今後も引き続き検討を続けるもの」の取り扱いは、あらためて代表者会議で進めかたを協議いたします。

北九州市議会議長 武智 弘